

カラスよけサークルって？

ベニヤ板をひもでつなげてサークル状にし、中にごみを置けるようにしたもの。ネットと一緒に使うとさらに効果的です。



サークルを使えばごみがあふれることはありません



1人でも楽に重ねて片付けるのも簡単です

既製品を買うことも、自分で作ることもできます。市の助成制度がありますので、購入前にお問い合わせください。

作り方は、各世帯に配布された「ごみ分けガイド」35ページに記載しています



【詳細】札幌市コールセンター（本誌1ページ）

ごみステーションで、違反ごみがないか確認する本間さん（左）と新田さん



「サークルを使い始めてからは、カラスに荒らされることはほとんどなくなり、見掛けのカラスの数も減りました。サークル

を製作してカラスよけサークルを製作しました。

「サークルを使い始めてからは、カラスに荒らされることはほとんどなくなり、見掛けのカラスの数も減りました。サークル

を製作してカラスよけサークルを製作しました。



ごみパト隊員と違反ごみについて話す本間さん



「さっぽろミーゴス」

サークルで、きれいなごみステーションに

カラスによるごみのまき散らしやルール違反のごみに悩まされてきた、麻生地区の学田西町内会（宮崎正晴会長）。2年前、町内会の環境衛生部長だった本間理策さんは、ごみステーションをきれいにしたいと考え、幸坂豊さんと協力してカラスよけサークルを製作しました。

ルやネットからごみがはみ出ることなく、景観が良くなったと地域の人たちも喜んでくれています」と本間さんは語ります。ごみが回収された後、本間さんや現在の環境衛生部長の新田和義さんらが協力して町内のサークルを片付けています。そうすることで、時間を守らずにごみを出

ごみステーションをきれいにするには、サークルなどの器材以上に、そこを使う人たちの気持ちが大切です。一人一人のほんの少しの心配りが、きれいなまちをつくっていくのでしよう。



す人もいなくなりました。通学途中の子どもたちから「ごみのおじさん」と呼ばれるようになったという本間さん。「地道な活動を、子どもたちもちゃんと見てくれている。やりがいを感じますね」とうれしそうに語っていました。

広告